

◆登壇者プロフィール◆

■2026年1月23日(金)

ネットワーク会議 1日目：外国ルーツの子どもの現状

◆石塚 達郎(いしづか たつろう)氏

2023年5月より、たぶんかフリースクールで数学講師をつとめ、2025年5月より多文化共生センター東京、代表理事。

2019年6月より2022年まで公益財団法人 日立財団理事長。

日立財団の新事業「多文化共生社会の構築」の取組みとして2020年末、2021年末、2022年末にオンライン配信の多文化共生社会構築プログラム「外国ルーツの高校生の教育のシンポジウム」を企画・提供。

現在は、団体の活動、行政との連絡や講演活動に加え、経済同友会に団体代表として参画し企業経営者への理解周知活動にも注力

◆入倉 真佐子(いりくら まさこ)氏

外国人支援コーディネーター/多文化共生マネージャー/地域日本語教育コーディネーター。

代表を務めているNGO「多文化LIFE」は、今年度から、長野県箕輪町の日本語教室の運営や多文化共生に関する事業の企画・運営を業務委託され活動している。

現在、長野県立夜間定時制高校の国語科教員として外国ルーツの生徒たちの支援体制づくりに携わっている。

◆Yokota Teresa Ayumi(ヨコタ テレサ アユミ)氏

日本語指導助手兼ミュージシャン。

ブラジル生まれ日本育ち。東京音楽大学器楽専攻ホルンを卒業。高校生の頃より弾き語りを始め、現在では音楽活動と通訳の仕事に従事。二つの文化の間で育った経験を活かし、外国人のサポートを行うと同時にブラジル音楽を広める活動を行っている。

◆登壇者プロフィール◆

■2026年1月24日(土)

ネットワーク会議2日目：2025年度かめのり助成採択団体活動報告

◇2025年度事業助成採択団体

・にほんごぶらす（所在地：兵庫県豊岡市）

ステンドグラス豊岡と題し、①企業関係者や地域の支援者をつなぐネットワークづくり②外国人雇用者のための事例集作成③高校生への多文化理解講座を実施中。市内のリソースとネットワークを活用した地域に根差した取り組みを実践している。

ホームページ：<https://www.nihongo-plus.com/stainedglass>

・アジア人文文化交流促進協会（所在地：東京都目黒区）

「おとなりさん・ファミリーフレンド・プログラム（OFP）」での経験をもとに、地域ボランティアの力を活かし、「顔の見える」長期・短期のサポートを組み合わせた支援モデルを実践中。さらに、IT技術を活用し、多文化共生コミュニティプラットフォームの構築も目指す。社会に眠る支援力を引き出し、外国人住民のニーズに合ったサポートのマッチングを最適化し、社会資源を活かした新しい「地域の助け合い」モデルの創出に取り組んでいる。ホームページ：<https://j-ii.org/>

・日本在住ベトナム人協会（所在地：東京都を中心に会員は全国で活動）

日本各地にメンバーが在住しており約4割のメンバーが30歳未満で社会貢献意欲は高いものの、日本語能力や社会経験・リーダーシップスキルなどを向上させる機会が十分ではない。そのため、リーダーシップや問題解決能力を備えた若手の人材育成のための研修を実施し、日本生まれ日本育ちのメンバーもいる中で組織の運営力の強化や日本社会との連携を深め、多文化共生の実現に貢献する人材を輩出するための事業を実施している。

ホームページ：<https://hiephoi.jp/>（ベトナム語サイト）

・みんなの Vamos Papear（所在地：群馬県太田市）

南米ルーツの外国人が多く住む太田市では、バイリンガル教員や日本語指導員（母語支援員）によるサポートが行われてきたが、近年、アジアやアフリカなどの国の児童も増加し多国籍化している。学校現場や地域活動において増え続ける児童生徒への対応が求められている中で、直接的な児童・生徒への学習支援だけでなく、多国籍化していく状況に対応できる外国にルーツの支援者のスキルアップ研修や支援者の育成、外国ルーツの若者の居場所づくりなどにも尽力している。

活動報告のリンク：

https://www.kamenori.jp/wp-kamenori/wp-content/uploads/2025/12/Vamos-papear_compressed.pdf